

## 2014年度 JMLA/JPLA コンソーシアム説明会開催報告

富田 麻子\*

雑誌委員会（委員長）、日本医科大学中央図書館

2014年度 JMLA/JPLA コンソーシアム説明会を東京、京都の2会場で開催したので報告を行う。

## I. 概要

関東地区：東京会場

日時：2014年9月2日（火）9：30～18：00  
会場：パレスサイドビル2階 マイナビルームS  
〒100-0003 千代田区一ツ橋1-1-1  
パレスサイドビル2F

参加企業数：説明22社（前年比2社増）

展示26社（前年比4社増）

参加者数：JMLA 68名（前年比5名増）

JPLA 43名（前年比7名減）

関西地区：京都会場

日時：2014年9月5日（金）9：45～17：30  
会場：京都テルサ東館2階 セミナー室（第1～第3  
セミナー室、中会議室）  
〒601-8047 京都市南区東九条下殿田町70番地  
新町通九条下ル 京都府民総合交流プラザ内

参加企業数：説明19社（前年比1社増）

展示23社（前年比3社増）

参加者数：JMLA 22名（前年比3名減）

JPLA 23名（前年同）

両会場のJMLAの参加率は以下の通りである（表1）。

表1. JMLA 会員参加率

	東京	京都	合計 (人)	加盟機 関数	参加 機関数	参加機関 の割合
会員A	51	21	72	98	46	46.9%
会員B	17	1	18	41	13	31.7%
計（雑誌委員 含む）	68	22	90	139	59	42.4%

\*会員機関数は2014年9月3日現在

\*協力会員、個人会員、維持会員を含まず

\*Asako TOMITA：〒113-8602 東京都文京区千駄木1-1-5.  
asako@nms.ac.jp (2014年11月13日 受理)

## II. アンケート結果

次回以降開催の参考とするために、会場で参加者に対してアンケート調査を行った。

## 1. 調査方法と回収率

## 1) 調査方法

アンケート質問用紙に9項目の質問事項を記載し、プログラム、早見表とともに封筒に入れ、説明会資料配布テーブルに並べ、参加者にとってもらった。説明会の席上で回答の協力を依頼。

## 2) 質問項目

質問中7問は選択式、2問は自由記述式。

## 3) 回収方法

受付に回収箱を設置。

## 4) 配布数と回収率（表2）

表2. 回収率

	東京	京都	合計
配布数	100	44	144
回答数	79	25	104
回収率	79.0%	56.8%	72.2%

\*雑誌委員を除く

## 2. アンケート結果

## 1) 参加者の所属機関（表3）（表4）

JMLAの参加者は全体では前年とほぼ同数であったが、東京会場の参加者が増えた一方で、京都会場のB会員が減ったのが気付きである。一方JPLAは東京会場参加者数が昨年に比べて7名減ったのが顕著である。

表3. 所属協会別参加者数

	東京	京都	合計
JMLA	68	22	90
JPLA	43	23	66
合計	111	45	156

表4. 会員種別参加者数

	東京	京都
a. JMLA 正会員A (大学)	51	21
b. JMLA 正会員B (病院, 研究所)	17	1
c. JPLA 正会員A (大学)	11	14
d. JPLA 正会員B (企業)	22	6
e. JPLA 正会員C (薬系関連以外の大学)	9	0
f. JPLA 正会員D (薬系関連以外の企業)	1	3
合計	111	45

## 2) 日程 (表5)

ほとんどの回答が「適当」であったが、東京会場参加者から次のような意見があった。

- ・来年は消費税のことがあるので少し早めがいいと思います。
- ・開催日について8月中を希望します。早ければ早いほど助かります。
- ・もう1週間早めて頂くとなお良い。
- ・値上げ率が決まっていないタイトルが多い時期は避けてほしい。
- ・JUSTICEの会期ともう少し間をあけてほしい。

開催時期を早めてほしいという意見がある一方で、遅くしてほしいという意見もあり、調整が難しいところである。

表5. 日程

	東京	京都	合計
a. 遅い	1	2	3
b. 適当	74	23	97
c. 早い	2	0	2
d. その他	1	0	1
回答なし	1	0	1
合計	79	25	104

## 3) 会場 (表6)

東京会場

- ・駅直結でとてもよいです。
- ・便がよくて助かります。
- ・少々寒い。

京都会場

- ・交通の便が良くない (大阪市内からのアクセスですが)。
- ・京都だと遠い。せめて大阪で。
- ・駅から近い場所をお願いします。
- ・グランフロント大阪 (ナレッジキャピタル)。

京都会場については前回も同様の意見があったため、地区会や関西地区の会員館に呼びかけるなどして、京都会場と同等の条件で使用できる会場を探したが該当するものがなかった。会場の推薦は随時歓迎している。

その他に、

- ・東京、京都以外の開催もあるといいと思う。

という意見もあった。具体的な希望があればお知らせください。

表6. 会場

	東京	京都	合計
a. よい	66	11	77
b. 普通	12	11	23
c. よくない	1	3	4
合計	79	25	104

## 4) 説明会の参加業者 (版元・代理店) 数 (表7)

説明・展示とも、昨年に比べて参加業者が増えたため、開催時間が長くなったことへの意見があった。

東京会場

- ・(多いが) 仕方がない。

京都会場

- ・1社当りの時間が短いためか説明が慌ただしく聞きにくいことがある。代理店 (書店) がまとめて説明、出版社はブースで個別説明という構成もありか。

表7. 参加業者数

	東京	京都	合計
a. 多い	7	1	8
b. これくらいで良い	71	23	94
c. 少ない	0	1	1
d. その他	1	0	1
合計	79	25	104

## 5) 説明会の内容 (表8)

「参考になった」「まあまあ参考になった」という回答がほとんどだった。

東京会場

- ・説明の声が小さかったり、早口だったりで聞きにくい業者があった。
- ・15分の説明が足りなくても、その後ブースへ行き個別で質問する気力・体力がなくなり、惜しい。
- ・出版社さんと直接お話ができ、とても参考になりました。
- ・大変お疲れ様でした。設定ありがとうございました。

京都会場

- ・セールス担当だけでなく編集担当の話も聞きたい。
- ・あまり参考にならなかった。

表8. 説明会の内容

	東京	京都	合計
a. 参考になった	52	13	65
b. まあまあ参考になった	23	10	33
c. 参考にならなかった	0	1	1
d. その他	1	0	1
無回答	3	1	4
合計	79	25	104

## 6) 説明会の運営 (表9)

概ね「よい」という評価をいただいた。

## 東京会場

- ・各社提案書のフォーマットが統一されているので見やすい。
- ・マイクの音が小さく感じた。
- ・(ブースの) 場所はくじ引等で決めているのだと思います(公平になるように)、法則がなくて探すのが大変です。アルファベット順等に並べていただけるとありがたいです。
- ・マイナビルームの外に説明があるかと思っていたので、会場がわからずうろろした。
- ・毎年コンソーシアム提案の取得に尽力していただきありがとうございます。今後ともよろしく願い致します。
- ・色々ありがとうございます御座いました。
- ・興味のない版元の説明中は参加者にずっと話してうるさい方がいらっやいました。周りは迷惑していたと思います。席をあらかじめ決めて頂き、知人が横合わなければ解決かと思えます。
- ・ずっとおしゃべりをしている方がいてうるさかった。参加者の私語については、オリエンテーションで注意を促すなどの対策を立てていくことにする。

表9. 説明会の運営

	東京	京都	合計
a. よい	55	15	70
b. 普通	17	9	26
c. よくない	0	0	0
d. その他	1	0	1
無回答	6	1	7
合計	79	25	104

## 7) 今後の説明会開催 (表10)

多くが「今後も開催してほしい」との意見だった。「情報交換の場を増やしては」という意見は、会場内での私語対策にもつながると思われる。

## 東京会場

- ・7月後半～8月前半位にあると選定の余裕が出来ると思います。
- ・情報交換の場を増やしてはどうか。
- ・半日で2日位に分ける。
- ・複数の代理店と話が出来て助かります。ありがとうございました。準備等大変なことと思いますが、どうぞよろしくお願いいたします。
- ・ご苦労様です。今後ともよろしくお願いいたします。

## 京都会場

- ・プレゼン動画をスタンドアロンパソコンに入れ、視聴ブースを作っただくと自由に見られて空き時間を有効活用できませんか。

## 8) JMLA/JPLA向けコンソーシアムの版元交渉に対するご意見・ご要望

## 東京会場

- ・コンソはアーカイブの買切のようにはならないのか。
- ・年々のプライスキューブは本当に必要なか疑問だ。
- ・最終的には1対1の交渉になりますが、その前に方向性ができている事は大変助かります。お忙しい処ありがとうございました。
- ・ブースでの個別相談は非常に重要なのでさらに充実して欲しい。
- ・JUSTICEとの差異、色分けが色々あると思うがJMLAコンソならではの提案に期待しています。
- ・本説明会とJUSTICE説明会の違いを明確にしてほしいです。独自性、有利性をもってほしいです。
- ・JMLA/JPLAコンソーシアムのみなさま交渉ありがとうございました。
- ・お疲れ様でした。今後ともよろしくお願いいたします。
- ・Elsevierがもっと安くなるように交渉いただけると助かります。
- ・Nature よろしくお祈りします。
- ・Scienceのコンソに入りたい。
- ・タイトル入替えがもう少しやりやすくなると助かります。
- ・契約終了後のアクセス権を残してもらえると助かります。
- ・和雑誌系データベース契約期間中発行巻号だけでも…
- ・交渉もありがたかったです。でも値上げの解消となるようなもう少し割引がほしい。
- ・今年は交渉の裏話を伺いすることがあり、この説明会まではいろいろとお骨折りにくださっていることがわかりました。ありがたく存じます。
- ・利用に即した柔軟なパッケージ、PPVの大学向け提案の充実。
- ・Collection/Package提案が多いがVolume Discountとかカスタムチョイスの提案も引き出してもらえるとより有り難いです。またCollection/Packageについては小さな規模のものが増えるとよいのですが。
- ・いつもありがとうございます。値上がりで購読維持がむずかしくなってくる中、大変とは思いますが、こちら側の要望を団体として伝えられることは有意だと思います。
- ・購読タイトル、規模の維持条件が大変厳しい状況です。キャンセル枠を拡げて頂けますよう交渉いただけることを希望いたします。

## 京都会場

- ・BioMed CentralのAPCのグループ提案が聞けたのは良かったです。OA誌のAPCについて情報がほしいので。
- ・JUSTICEと合同の検討を希望します。
- ・パッケージ契約の維持が困難となりPay Per Viewの

提供を増やしてほしい。

- ・ SpringerのJPLA向け提案が欲しいです。
- ・ 色々交渉していただきありがとうございます。

表 10. 今後の説明会開催

	東京	京都	合計
a. 今後も開催してほしい	73	19	92
b. どちらでもよい	2	5	7
c. 開催しなくてよい	0	0	0
d. その他	0	0	0
無回答	4	1	5
合計	79	25	104

### 9) 今後参加して欲しい版元・代理店

- ・ ダウジョーンズ ・ Elsevier 高すぎるので (2件)
- ・ 南江堂のNEJM ・ メディカ出版 ・ UpToDate
- ・ 大型DB系版元に参加してほしい。
- ・ 企業向けを増やして頂ければ有り難いです。Elsevier, Springer, NPG。
- ・ 紀伊國屋書店のプレゼンもあると良いと思う (ブースのみでなく)。

- ・ AAASのブース (京都会場)

### 10) その他のご意見

今回は新たな試みとして、提案書を参加者自身で取っていただく形式を取り入れた。これは、昨年までのアンケートで「必要なものだけを選びたい」という要望があったためでもある。配布資料についての意見を多くいただいたので以下にまとめる。

- ・ 提案書が両端にあったが同じものだという案内がなかったのではわからなかった。(東京会場)
- ・ 早見表のコピーが業者ごとに資料に入っており分かりやすく良かった。
- ・ 配布資料の封筒の中にコンソの対象コンテンツのパンフも同封してほしい。
- ・ 各社の封筒が要らないです。
- ・ 準備大変お疲れ様です。個々の資料の右肩ぐらいに「大」「病」「企」「他」を掲載していただくと関係有無がすぐわかると思います。また提案IDを掲載していただくと早見表がすぐ参照できると思います。
- ・ 提案早見表またはプログラム・提案書に、説明業者の連絡先tel, e-Mail代表者氏名をつけてください。
- ・ 早見表がA4縦と横がまざっているのを統一してほしい。
- ・ 各版元ごとに作られたExcelでの各提案ごとのシートは見やすいです。各版元からの提案以外にも当日使用のパワポの説明資料も後日かまいませんので提案掲載のインターネットに上げていただけるとよりわかりやすいと思います。

- ・ 提案早見表の掲載順を発表順にしてほしい。もしくは発表の順番を書いたセルがあるとうれしい。2会場あり、順番が変則になることもあると思うので難しいかもしれませんがご検討のほどよろしく願います。
- ・ 各代理店のコンソーシアム提案早見表が大変参考になりました。雑誌委員会のみなさま企画ありがとうございました。
- ・ 提案早見表が便利です。
- ・ コンソーシアム提案ではなく書店・代理店 (ユサコ, 丸善, 紀伊國屋, Swets) ごとの総代理店タイトル (出版社List) があると助かります。見積りを取るときに楽なので。封筒に入れる資料については、各社ばらつきが出ないように、委員会で検討をしていく。また、配布資料の配置についての案内などで参加者に不便が生じないようにすることが来年への課題である。

2014年度、コンソーシアムへの新規提案も得ることができた。とくに、BioMed CentralのOpen Access誌へのAPC (論文処理費用) 会員価格提案や、iGroupの論文剽窃チェックツールといった、従来とは違った提案をコンソーシアムとして扱うことができたのはひとつの成果である。また、和雑誌のコンソーシアムをという希望に応じて、南江堂からも新たな電子ジャーナル提案をいただいた。

説明会終了直後には、アンケートの要望にもあったように、説明会で用いられたパワーポイントの発表資料を委員会ホームページに公開した。

<http://plaza.umin.ac.jp/~jmla/ejbuntan/ej/2014/index.php>

\* ID, PW 要

当日参加されなかった方も、ぜひご覧いただきたい。

すでにご存知のとおり、9月24日にSwets社が破産宣言を行った。これにより、コンソーシアム提案も取り下げられた。雑誌委員会としては、各出版社のSwets社破産に関する対応状況について収集した情報を逐次会員に向けて公開している。

<http://plaza.umin.ac.jp/~jmla/ejbuntan/ej/index.html>

\* ID, PW 要

雑誌を取り巻く環境はまだまだ苛酷であるが、JMLA雑誌委員会とJPLA雑誌問題検討委員会で協力をし、意義あるコンソーシアム提案を得られるよう、来年度に向けて引き続き努力をしていく。会員各位の日ごろのご協力に感謝するとともに、皆さまからのご意見・ご希望をお待ちしている。

なお、このアンケート調査結果報告は、JMLAのHP、および『薬学図書館』60(1)2015年1月発行 (予定) 掲載と同内容である。